

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第9項の規定により、定期監査に係る監査の結果を次のとおり公表する。

平成24年12月21日

幕別町監査委員 柏本和成

幕別町監査委員 斉藤喜志雄

定期監査報告書（水道事業会計）

第1 監査の概要

1 監査の対象

平成24年4月1日から平成24年9月30日までの水道事業の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理状況について監査を行った。

2 監査の期間

平成24年11月6日（火）から平成24年12月10日（月）まで

3 監査の手続

監査の対象となった財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、提出された資料並びに提示のあった関係書類及び会計帳簿等に基づいて、照合その他通常実施すべき監査手続を実施した。

また、当事業の管理の状況についても、提出された資料及び提示のあった関係書類等に基づいて、必要と認められた監査手続を実施した。

第2 監査の結果

監査の結果、当事業に係る財務に関する事務は、関係法令、会計規程等に準拠して適正に執行されているものと認められた。また、当事業の管理の状況についても、適正に執行されているものと認められた。

なお、監査の結果と所見については下記のとおりである。

記

1 収入未済金対策について

本年度上半期の営業収益は265,170千円（前年同期260,690千円）、営業費用は107,165千円（前年同期104,242円）となっており、経常収益は増加傾向にあるが、依然として厳しい経営状況となっている。

現年度分の収納率は64.54%で前年同期比0.66ポイント低下しているが、幕別町水道事業給水停止要綱に基づく収入未済金対策を講じるなど収納率向上に努力されていることと評価をしたい。

今後とも経営の健全性維持並びに公平負担の観点から、現年度分の収納率向上はもとより、

滞納繰越分などの収入未済金回収に力を注がりたい。なお、平成20年において水道料金の値上げをし、22年度・23年度は純利益となり欠損金（23年度末843,478,346円）は減額となった。今後は老朽施設の改修や災害時の給水体制の構築などもあり、厳しい経営が続くものと思われるので、経営の健全化にさらなる努力をされたい。